

家畜衛生だより

令和5年5月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
TEL 023-686-4410
FAX 023-686-5715

早めの暑熱対策を始めましょう！

長期予報によれば、今年の6月～7月気温は「平年並み」か「高い」ようです。暑さに慣れないこの時期の急な暑さは、牛の体が対応できず、熱射病を起こしやすくなります。

早めに暑熱対策を始めましょう！！

【畜舎環境】

①樹木（緑のカーテン）や遮光ネット等による直射日光の遮断



ネットに植物を這わせる（兵庫県）



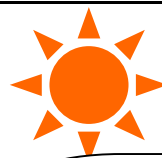
緑のカーテンをすると外と牛舎内の温度差は **7℃** にもなるそうです。

〈例〉ヘチマ・ゴーヤ・朝顔など

②屋根への散水やドロマイト石灰*塗布による畜舎内温度の上昇防止



屋根への石灰の吹きつけ（宮崎県）



屋根への石灰塗布（宮崎県）

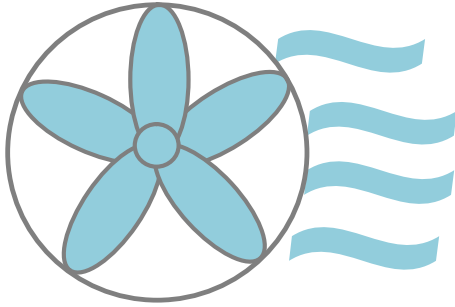
○屋根裏温度 約 15℃低下

○牛舎内温度 **約5℃低下**

*ドロマイト石灰

：溶解熱がなく粘着性に優れる。
畜舎消毒、暑熱対策等に使用。

③送風機具(扇風機・換気扇・送風ダクト)による体感温度低下



暑い夜が続くと基礎体温が上昇。

夜間の送風で体を冷やし、

次の日に体温を持ち越さない!!!

【飼養管理】

①密飼いを避ける⇒体感温度低下とストレス減少

②毛刈りによる体感温度低下

③飼料給与等の工夫

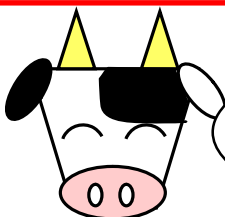
- ・冷たい水が十分に飲めるように！ウォーターカップの点検
- ・飼料給与は涼しい時間帯に！
- ・消化のよい飼料や、状況に応じたビタミン、ミネラルの給与



熱射病の症状

- 元気消失
- 残飼が多い
- 体温上昇
- 呼吸速拍
- 大量のよだれ

- 冷水を飲ませる
- 四肢から胸へと徐々に水をかける
- 送風して体を冷やす
- 診察を受ける



★こんな牛には要注意★

- ・高泌乳
- ・分娩前後
- ・肥満
- ・乳房炎、肺炎、腸炎がある

**「早期の暑熱対策」と「症状の早期発見」で
大切な牛を熱射病から守いましょう!!!**

飼養牛に異状が認められたら家畜保健衛生所まで

速やかにご連絡ください。

中央家畜保健衛生所（24時間対応）

023-686-4410